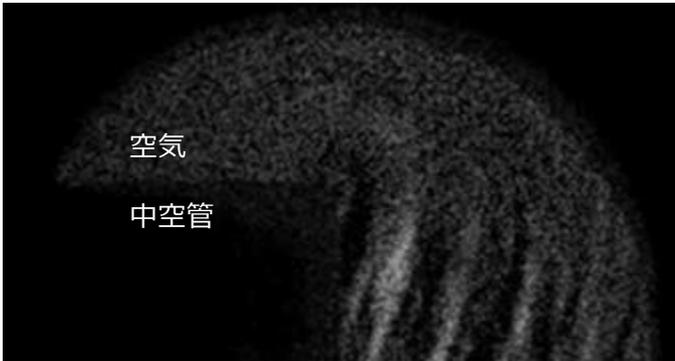


タイトル	外部研究機関と連携し、気柱振動時の音場観察に初めて成功
年月日	2021年3月27日
内容	<p>これまで、本校（物理教員、及び物理部生徒）と物質・材料研究機構で連携し、「気柱振動における『開口端反射』の実態追究」を進めてきました。今回、その一環で、気柱振動発生後の開口端近傍に対するシュリーレン法を利用した音場観察を実施し、良好な可視化像取得に成功しました（シュリーレン法：光の屈折率が媒質の密度勾配により変化することを利用し、密度勾配を可視化する光学手法）。これまで気柱振動に関わる音場を直接観察した事例は見られず（2021年4月本校確認の限り）、本結果は、今後、物理部生徒の研究にも重要な裏付けを与えるものと期待されます。</p>
	 
参考資料	<p>仲野純章・山脇寿：科学教育研究, 45(3)(2021), in press. https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jssej/-char/ja</p>